

くみ

ばん

名まえ

一 の中のことはを ぜんぶつかって、文をつくりましょう。

※ 「立つ」を「立って」のように かえて 書いてもよいです。

【各五点】

(例)

立つ 口 うたう



ステージに立って、大きな口をあけて
うたいました。

(1)

先生 手 もんだい



先生が出したもんだいに、手をあげ
てこたえました。

(例)

(2)

見つける 白い 校てい



校ていで、白い花を見つけました。

(例)

(5) 元 げん
 気 き
 に
 歩 ある
 く。

(4) へびの
 体 からだ
 は、ほそくて
 長 なが
 い。

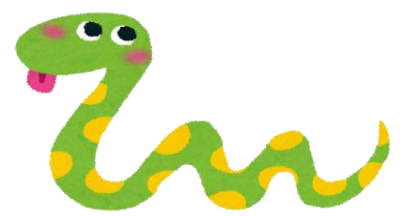
(3) 土 ど
 曜 よう
 日 び
 に、つよい
 風 かぜ
 がふいた。

(2) 日 にっ
 記 き
 ちように、
 名 な
 前 まえ
 を書く。

(1) 図 と
 書 しよ
 しつで かりた本を、
 音 おん
 読 どく
 する。

一つぎのひらがなのことばを □ に かん字で書きましよう。

【各一点】



二年 こくご きと きと ぷりん と ③②	
くみ ばん	名まえ
二年生でならう かん字一	
/ 10	

くみ

ばん

名前

一つぎのひらがなのことばを □ に かん字で書きましょう。

【各一点】

(1) **同** おな

じものが、いくつあるか

数 かぞ

える。

(2) **海** うみ

の中に、

光 ひかり

がさしこんでいる。



(3) すきな お

話 はなし

を、友だちに

教 おし

える。

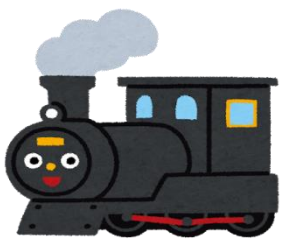
(4) **汽** き

車 しゃ

は、

線 せん

ろをはしる。



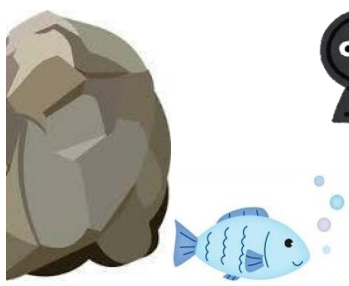
(5) 大きな

岩 いわ

かげに、小さな

魚 さかな

がいます。



くみ

ばん

名前

一つぎのひらがなのことばを □ にかん字で書きましょう。

【各一点】

(1)

うでを

組

く

んで、

考

かんが

える。

(2)

店

みせ

で、おかしを

買

か

う。

(3)

青く

晴

は

れた空に、白い

雲

くも

がうかんている。

(4)

夏

なつ

休

やす

みに、

公

こう

園

えん

であそぶ。

(5)

とんぼの

羽

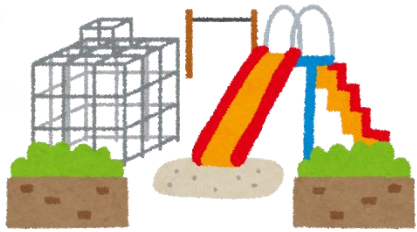
はね

のような

形

かたち

をしている。

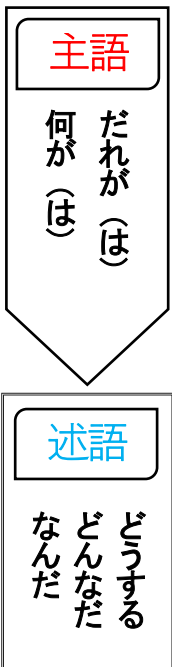


組 番 名前

一つぎの文の中から、主語と述語を見つけましょう。

主語には 線、述語には 線をひきましよう。

【各一点】



(例) ・花が さく。

・しばらくして、男の子は ぼうしを かぶりました。

主語は、いつも文のはじめにあるとはかぎりません。

(1) 妹が ケーキを 食べた。

(2) 月が とても 明るい。

(3) おとうさんは どうぶつの おいしやさんだ。

(4) ふきのとうが かおを 出しました。

(5) 赤い 魚たちが 岩かげに かくれている。

(6) 体育の 学しゅうは とても 楽しい。

(7) きょうの きゅうしよくは カレーライスだ。

(8) 毎日 ぼくの ゆうびんうけは 空っぽだ。

(9) どうぶつの 形の パンが たくさん あります。

(10) おじいちゃんが きょう 海で 魚をつりました。

組 番 名前

一つぎのひらがなのことばを□に かん字で書きましょう。

【各一点】

(1) 毎朝、顔を
 まい あさ がお
 をあらう。



(2) お昼に、電話をかける。
 ひる でん わ



(3) 頭に手をあてる。
 あたま に手を あ てる。

(4) おにいさんは、午後五時に家に帰る。
 おにいさんは、 ごご ごご いえ に帰る。

(5) 鳥のなき声が聞こえる。
 とり のなき ごえ が聞こえる。



組 番 名前

一 の中のことばを なかまわけして、かたかなで書きましょう。

※ のばす音の書き方に 気をつけましょう。

【各一点】

わんわん	ぶらじる	はんばあぐ	びゅうびゅう
ぽけっと	えじそん	にやあお	ろんどん
がちやん	あんでるせん		

(1) どうぶつの鳴き声

ワンワン

ニャーオ

(2) いろいろなものの音

ビュービュー

ガチャン

(3) 外国から来たことば

ハンバーグ

ポケット

(4) 外国の国や土地の名前

ブラジル

ロンドン

(5) 外国の人の名前

エジソン

アンデルセン



組 番 名前

一つぎのことばとにたいみのことばを の中からえらんで
記号で書きましょう。

【各一点】

(1) 話す

ウ

(2) うつくしい

イ

(3) むすぶ

ア

(4) うしなう

エ

ア しばる イ きれい ウ 言う エ なくす

一つぎのことばの、はんたいのいみのことばを 書きましょう。

【各一点】

(1) 立つ

すわる



(2) 新しい

古い

(3) とおい

近い

(4) 少ない

多い



(5) 入る

出る

(6) みじかい

長い



組 番 名前

一つぎのひらがなのことばを □に かん字で書きましょう。

【各一点】

(1) 手 て がみ 紙 が 来 く る。



(2) 東 とう きよう 京 から 帰 かえ ってきた。



(3) 池 いけ に、おもちゃの 船 ふね をうかべる。

(4) 広 ひろ ば 場 でおべんとうを 食 た べる。

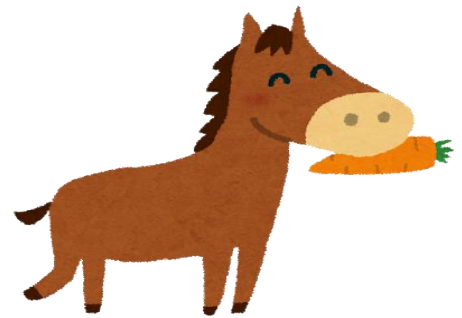
(5) 古 ふる い お 寺 てら がある。



(5) 自 じ
分 ぶん
で
歌 うた
をつくる。



(4) 四 し
角 かく
形 けい
に
切 き
りとる。



(3) 馬 うま
の
首 くび
には、たてがみがある。

(2) 画 が
用 よう
紙 し
でおもちゃを
作 つく
る。



(1) 秋 あき
には、お
米 こめ
がみのる。

一つぎのひらがなのことばを □ に かん字で書きましょう。
【各一点】

組 番		名前	
二年 こくご きとぎと ぷりんご ④		二年生でならう かん字 六	
		/ 10	